



## STAND BY YOU

その想いを、ともに描く。



### 2021年度学年暦(12月～3月)

12月24日(金)	年内授業終了
12月27日(月)～1月6日(木)	冬季休業
1月7日(金)	秋セメスター(後期)授業再開
1月14日(金)	休講(大学入学共通テスト/準備)
1月21日(金)	秋セメスター(後期)授業終了
1月24日(月)～1月28日(金)	秋セメスター(後期)定期試験
1月29日(土)～2月1日(火)	秋セメスター(後期)集中授業
2月28日(月)～3月31日(木)	春季休業
3月20日(日)	学位記授与式(卒業式)

※1/14(金)～16日(日)は大学入学共通テスト準備・当日のため終日、構内立ち入り禁止となります。  
※大学院の学年暦はホームページをご覧ください。

### 寄付のお願い

選手たちの活躍に対し、物心両面にてご支援を賜りたく、下記の通り寄付を募ります。寄付金額は1口2,000円、ご入金方法は郵便振込又はクレジットカード決済となります。詳しくは大学ホームページをご覧ください。

#### 「明治神宮外苑創建95年記念第52回明治神宮野球大会」出場に伴う寄付のお願い(硬式野球部)

本学硬式野球部は、「明治神宮外苑創建95年記念第52回明治神宮野球大会」において優勝し、「大学野球日本一」となりました。今後さらなる活躍のためのご支援を賜りたくお願いいたします。



#### 「第98回東京箱根間往復大学駅伝競走」出場への寄付のお願い(駅伝部)

本学駅伝部は来年1月2日(日)・3日(月)開催の「第98回東京箱根間往復大学駅伝競走」に出場します(2年ぶり22回目)。駅伝部の練習環境充実と選手の更なる活躍のためのご支援を賜りたくお願いいたします。



寄付のお申し込みはこちら



### 2021年度「あびこ祭」の中止について

10月23日(土)、24日(日)に予定しておりました「第54回あびこ祭(大学祭)」は、あびこ祭実行委員の学生が中心となり開催に向け準備を進めて参りましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止と関係される方々の安全を最優先し、大変残念ではありますが昨年に続き開催中止といたしました。来年こそは開催出来るよう気持ちを新たに取組んでまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 後援会新潟県支部総会 開催報告



10月3日(日)、後援会新潟県支部総会が開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大により全ての支部の総会が書面開催となり、教育懇談会等も中止となっておりますが、新潟県支部役員の皆様のご尽力により、2年ぶりに対面による支部総会が開催されました。開催に際しては、会場での感染対策を充分に行い、大学側からは遠隔での参加となりました。感染者数がようやく減り始めた時期でしたので、当日は役員・関係者を含め支部側は16名がご出席されました。支部総会議案内容の他に、保護者同士の意見交換や情報交換、大学側との就職関係やワクチン接種状況などの質疑応答等が行われ、とても充実した2時間となりました。

### 学生会館Vialに空気清浄機を設置



11月に中央学院大学後援会より空気清浄機12台が寄贈され、学生会館Vial内の各店舗及び全フロア合計10か所と保健センター、学生相談室に設置しました。学生会館内は食堂もあり、マスクをはずして飲食をすることから、窓や扉の開放、机上の仕切り板設置、席の減数を実施しています。今回、学生会館に設置された空気清浄機は、1台でプラスマクラスター対応範囲39畳、空気清浄範囲65畳の広範囲に効果があり、今以上の感染リスク減が期待できます。

### 吹奏楽団「第27回定期演奏会」

日時:12月19日(日) 開場14:00 開演14:30  
会場:けやきプラザふれあいホール(我孫子駅南口徒歩1分)  
入場無料・全席自由  
曲目:「春よ、来い」  
ミュージカル「レ・ミゼラブル」  
伝説の「NHK大河ドラマ」メロデー他  
今年は中央学院高等学校吹奏楽部との合同開催となります。



# Renewal

Special feature 1

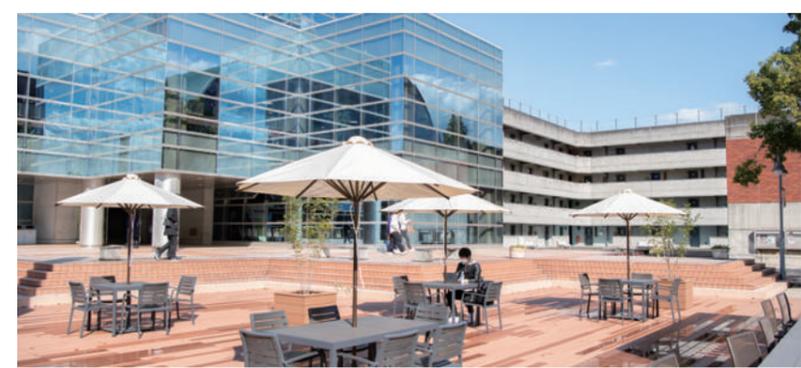
2021年10月に生まれ変わりました。  
1997年9月に竣工された学生会館Via前のセンター広場。東日本大震災によって噴水などが使用できなくなりましたが、この度この噴水跡地にウッドデッキを設置し、食事や会話を楽しんだり、読書をしたりと学生の皆さんが自由に過ごせる新たな憩いのスペースとして生まれ変わりました。



## 竣工当時のセンター広場



竣工当時の学生会館Via前のセンター広場には噴水と照明が設置され、水と緑の豊富な憩いのスペースで交流する学生と教職員で賑わっていました。



2019年9月に学生会館Viaをリニューアルした際のコンセプトでもあった「キャンパスライフを一層充実させる学習・活動・憩いの場」を、今回のセンター広場（噴水跡地）リニューアルにおいても踏襲しており、このスペースがみなさんの「憩いの場」となって、食事をしたり、ちょっと座ったり、おしゃべりをしたりして「心地よい時間」を過ごしていただければと思います。

学生会館Via前に  
新たな「憩いの場」が誕生



学長 市川 仁

## 主体的な学びの場を提供

長期にわたる公務員試験の勉強では、学習に集中できる環境が必要です。行政研究室では公務員試験の勉強に適した環境をコロナ禍以前から室員に提供。顧問は、室員による研究室の運営や公務員志望者の学習面の指導助言を行っています。同じ目標をもつ友人や先輩がいると学習を継続させやすくなりますが、行政研究室には公務員を目指す仲間がいて交流できる環境があります。室員の学ぶ意欲を引き出し、日々勉強する習慣が3年生までに身につくように今後も指導していきたいです。



土屋 耕平 准教授

### 行政研究室



活動日	月曜日～金曜日
活動場所	本館6階 行政研究室
取得を目指す資格	行政書士、宅地建物取引士、ニュース時事能力検定
顧問	土屋 耕平、田中 啓行、坂井 亮太

4年生 7人 3年生 11人 2年生 11人 1年生 14人

国家公務員一般職や都道府県上級職、市役所一般行政職などの公務員採用試験合格を目指しており、台東区役所、我孫子市役所、館山市役所、入間市役所などの就職者を輩出しています。新型コロナウイルス感染症の流行以前は室員間の親睦を深めるため合宿を開催したり、地域の課題を学びコミュニケーション能力を向上させるため地域のボランティア活動に参加したりもしてきました。2021年度は実施できませんでしたが、今後は夏合宿で過去問演習を行うことなども計画しています。

## ともに資格試験を目指そう

公務員試験を頑張る仲間が欲しくて、行政研究室に入りました。堅いイメージを持たれるかもしれませんが、研究室は出入り自由で個人勉強スペースがもらえ、いろいろな設備も使用可。集中して勉強できますし、資格試験の検定補助などのサポートも受けられる、いい意味で自由な居心地のいい場所です。希望通り資格試験に向けて共に頑張る友達もできました。コロナ禍でなかなかキャンパスに来られない下級生にも、訪ねやすい雰囲気を作ろうと仲間と話し合っています。ぜひ気軽に見学に来てください!



## 切磋琢磨して資格取得を

研究室のテーマは「相互監視と相互依存による資格取得」。基本的には学生の自習を促す一方（これができるようにしなければ話になりません）、個別指導には別途対応します。現在は対面/オンラインどちらでも行っており、Microsoft Teamsのチャット機能を活用し3名の顧問にアポイントを取ってもらえば何でも相談に乗ります。入室希望の皆さんには、ぜひ、大学で「何かをやった」と言えるものを見つけてもらいたいですね。学生同士で切磋琢磨するのはいいものですよ!



野口 健格 准教授

### 法制研究室



活動日	月曜日～金曜日
活動場所	本館6階 法制研究室
取得を目指す資格	司法試験予備試験、司法書士、弁理士、社会保険労務士、行政書士、宅地建物取引士、法学検定
顧問	野口 健格、木崎 峻輔、柴田 彬史

4年生 8人 3年生 8人 2年生 1人 1年生 9人

法制研究室は、司法試験予備試験をはじめ司法書士、弁理士、社会保険労務士など法律系資格取得のために勉強する空間を提供することを目的としています。資格取得という同じ目標を持つ仲間と学習することで勉強する意欲を刺激し、励まし合うことで辛い時を乗り越えることが狙い。室長を中心とした自主的な運営ですが、学習相談、進路指導はもちろん選書の購入・紹介、合宿・勉強会、懇親会など、学びのためにさまざまな活動を行っています。

## 勉強に集中できる空間

研究室に入ったのは、同じ資格を目指して勉強する仲間を見つけるためです。私は行政書士の資格取得を目指しています。法制研究室では勉強部屋（一人掛け机）と談話室（長机）が分かれており、勉強部屋では静かで落ち着いて勉強できますし、談話室は賑やかで過ごしやすく、先輩にわからないことを聞ける環境が整っています。また資格試験のための受験料や参考書購入などのサポートもあります。勉強する環境と友人がいると、自然とモチベーションが続きますよ。



# 学生研究室紹介

Special feature 2

すべての研究室で学部を問わず入室できます。

中央学院大学には4つの学生研究室があり、仲間と切磋琢磨しながら資格やスキルの取得に向け日々勉強に励んでいます。勉強でわからないところは顧問の教員や先輩からアドバイスが受けられ、同じ資格を目指す仲間と理解を深める環境が整っているのが学生研究室の魅力。すべての研究室で学部を問わず入室できます。4つの研究室の特徴や活動内容について紹介します。

### 現代教養研究室



研究室の礎を築こう

### 法制研究室



切磋琢磨して資格取得を

### 行政研究室



主体的な学びの場を提供

### 経理研究室



知識・経験を深める場

## 知識・経験を深める場

学生主体による活動が研究室のモットーなので、最大限に学生の自主性を尊重し、逡巡する場合に後押しをする必要最小限のサポートに徹しようと考えています。とはいえ専門的な知識等の指導や助言、資料の調べ方や論文の執筆の仕方など、室員の考えや状況に応じて個別に対応。資格取得は、就職活動や就職後のアドバンテージになりますし、明確な目的や目標が学生生活を充実させ、同志の先輩・同期・後輩との交流は人間関係を豊かにします。経理研究室で一緒に活動していきましょう。



長田 美悠子 准教授

### 経理研究室



活動日	月曜日～金曜日
活動場所	本館6階 経理研究室
取得を目指す資格	公認会計士、税理士、簿記検定
顧問	長田 美悠子

4年生 4人 3年生 6人 2年生 5人 1年生 5人

会計・経理の分野に関する簿記等の資格取得を目指した学習と研究活動を目的としています。資格取得に向けては、主に室員同士で勉強を教え合うほか、簿記に関する外部機関主催のイベントに参加。研究活動では、室員が各自・共同で研究テーマを選択し、あびこ祭で研究発表したり、論文作成に取り組んでいます。研究発表のためのプレゼンテーションの準備をしたり、調べたり議論した内容を論文として執筆することによって、知識や経験を深めています。

## フランクな人間関係を構築

高校までは部活動に力をいれてきたため、大学入学後も講義の他に何か頑張りたいと思い入室。主に簿記など会計関係の資格取得に向けて勉強しています。経理研究室には、先輩・後輩関係なくフランクに話せる雰囲気があり、入室しなければ繋がることできなかった人たちと出会うことができました。また大学生活、将来のことなど他の人の考えや意見を参考にできたり、資格取得に向けたアドバイス・指導を受けられるなど、たくさんのメリットを実感しています。



Employment section

# 就職課 インターンシップと海外キャリア教育プログラムに参加した学生からの報告を紹介します。



現代教養学部 3年  
加藤 穂乃佳さん  
県立成東高校出身

## JTB海外キャリア教育プログラム報告

### ◎研修へ参加した理由

「JTBカナダで実際にお仕事をされている方とお話したい。」と思ったことが一番の動機です。カナダは学びの場、働く場においても多国籍になる環境が多いという事で知られています。そんな方々と顧客以外の立場でお話できる機会は、この研修を逃してしまえば今後二度とないと考え、参加しました。

### ◎どんな研修でしたか

オンラインの語学研修を経て、「伝える力」について学ばせていただきました。語学研修においては、日本でALT(外国語指導助手)をされていた講師より講義が行われました。講義においては一切日本語を使わないものでした。

### ◎今回学んだことや感じたこと

業務内容についてはカナダにおけるメール作法やプレゼンテーションをするうえでの効果的な方法について学びました。メールについて、日本は「丁寧に伝える」、カナダは「わかりやすく伝える」ことを重要視している点に差があると感じました。

### ◎この経験を今後の学生生活にどう活かしていきたいか

「わからないことを伝えるためのコミュニケーション」をすることで、疑問点を探しながら講義を受講しました。パワーポイントによるプレゼンテーションにおいては、限りある時間で最大限の力を出し、わかりやすく作成することに注力しました。現在インターンシップに参加しており、新規事業提案という形でプレゼンテーションをする予定です。JTB海外キャリア教育プログラムにおいて学び得たことを最大限発揮できるようにしていきたいです。



法学部 3年  
関本 媛心さん  
私立中央学院高校出身

## インターンシップ報告 我孫子市役所 保育課 子育て支援センター

### ◎インターンシップへ参加した理由

就職ガイダンスがオンラインで行われ、友人とも相談ができず、何から始めてよいか悩んでいました。就職活動について考えているうちに、従姉が市役所に勤めていることもあり、公務員を視野に入れるようになりました。身近なようで知らない仕事を実際に見て、体験して学びたいと思い、参加しました。

### ◎どんなことを体験したか

受付やご利用者様とのふれあい、フロア清掃等のスタッフ補助の仕事をしました。特に、ここにこタイムでの手遊びや絵本の読み聞かせは貴重な体験でした。音読とは違い、ただ読むだけでなく、保護者様と子ども達が一緒に読みながら、体を動かしながら楽しめるようにする工夫を教わり、普段ではできないような経験をしました。

### ◎今回学んだことや感じたこと

自分の学びと異なる内容の研修ということもあり、知らないことが多く、戸惑うことばかりでした。ご利用者様から0～2歳の子どもの歯の磨き方、おもちゃ選びについて相談を受けましたが、正解のない疑問に答える難しさを感じました。5日間の研修でしたが、表情や声から子どもの成長を感じ、1日の大切さに改めて気づかされました。

### ◎今回の体験をどう就職活動へ活かしたいか

スタッフ補助の仕事を通じて、我孫子市の子育て支援の運営を知ることができました。知らないこと、初めて体験することにも積極的に取り組むことで、人のかかわりが広がり、視野を広げることができたと感じています。これからの就職活動では企業研究、説明会を通して自分に合った、長く続けていきたいと思える出会いの場にしていきたいと考えております。

## 現在の就職活動とこれから求められること

新型コロナウイルスの影響等により、学生を取り巻く就職活動状況は大きく変わりつつあります。現在のオンライン就活はコロナ収束後も続く見込みです。また、採用・働く環境が従来の年功序列のしくみから「専門採用」、「評価型(成果主義)」に移行する動きも見られます。こうした中、学生時代に学ぶ「知識・教養」、「主体性」に加え、「考える力」「伝える力」を養うための経験を積むことが重要になります。人により学ぶことと経験することは多種多様ですが、それを見出すこと、自発的に行動することも更なる大学生活、社会人になるための準備となるでしょう。

## 《就職課からのお知らせ》

キャリアカウンセラーによる就職相談、面接練習をしてみませんか? 予約希望の方は就職課(04-7183-6520)までご連絡ください。オンライン面接、対面面接どちらにも対応。1枠45分です。  
＜オンライン面接の特徴＞  
対面での入室、着席の手順と同様にカメラの位置や部屋の明るさ、話し方などオンラインならではの特徴を指導していきます。



## 研究室の礎を築こう

現代教養研究室は幅広い資格を対象としているため、学部の先生方の協力を得ながら、指導助言を行っています。これまではMicrosoft Teamsを活用していましたが、今後は各資格別の対面指導や相談を増やしていく準備を進めています。スタートしたばかりの研究室ですから、目的意識を持った意欲的な学生や、研究室の礎を創り出すフロンティア精神に富む学生の入室を期待しています。大学時代の1～3年生までが、将来の準備ができる時期。限られた時間を仲間とともに有意義に過ごして欲しいですね。



林 健一 准教授

## 学生研究室紹介



現代教養研究室

現代教養学部  
3年  
加藤 穂乃佳さん

## 誰もが主役の研究室

研究室は「自分を高めたい」という同じ志を持った仲間と共に励み、お互い切磋琢磨し合える場所。縦のつながりや頑張り場が欲しくて入室し、仲間と協力して研究室の環境を整えています。0から始められる利点は、誰もが主役であり、実行者になれること。先生方も積極的に相談に乗ってくれますし、先輩・後輩の繋がりができたことによって、交流の和が広がりました。興味がありましたら、ぜひ訪ねて来てください。他学部の方も大歓迎。一緒に現代教養研究室を盛り上げ、充実させていきましょう!



活動日	月曜日～金曜日
活動場所	本館6階
取得を目指す資格	TOEIC実用英語技能検定(英検)、観光英語検定、秘書技能検定、マイクロソフト オフィス スペシャリスト、日本語検定、ITパスポート試験、環境社会検定試験(eco検定)、ニュース時事能力検定試験(N検)
顧問	林 健一、峯 真依子

4人0人 13人13人 8人8人 0人0人

2021年度4月開設。学生が主体的に学ぶとともに、志を同じくする者たちが集い、切磋琢磨したり、情報交換をしたりできる場を提供しています。英語関係は峯先生、情報・ビジネス系は林先生が担当。資格取得に向けての勉強をスタートさせる一方、室員が話し合っって研究室のルールを作るなど学習環境を整えています。今後は、現代教養学部の先生方の協力を得ながら、さらに個別指導を充実させていく予定です。

## 3 学部 TOPICS



## 現代教養学部

### 齋藤大輔ゼミ「白杖体験」報告

11月11日(木)に、現代教養学部 齋藤 大輔 准教授の「専門基礎演習」において、障害者への理解を深めるために、白杖を使用した移動体験を行いました。授業は、障害者体験から当事者の気持ちになり、どのような点で困難を感じるのかを理解することをねらいとし、今回の授業では白杖を使って移動する視覚障害のある方の気持ちになり、アイマスクを装着しただけの状態とアイマスク+白杖の状態を体験しました。体験を通じて気づいた大学構内の改善点として、「点字ブロックを各建物に行けるように敷設する」、「地面の凹凸が多いので、滑らかにする」といった点を挙げられ、参加した学生からは、「普段歩いている場所なのに、どこを歩いているのか全くわからずとても不安を感じた」、「白杖があるだけで、壁や物があることがわかり歩きやすかったが、白杖を使っている、小さな段差や気がつかない障害物もあり、移動するだけで大変だった。」などの感想がありました。



## 法学部

### 「フィールドワーク実践口頭発表」開催報告

10月28日(木)に、法学部 中基 由佳里 非常勤講師の授業「フィールドワーク実践」にて、法学部フィールドスタディーズコースの3年生が社会人の方に行ったインタビューやアンケートをまとめた内容について口頭発表を行いました。日ごろから気になっていた分野について調べをした後、不慣れな電話で社会人の方にアポイントを取り、対面でインタビューをさせていただいたり、面識のない方に30問ものアンケートをお願いするなど、普段の授業では学べない貴重な体験ができました。



## 商学部

### 体育集中授業「日本ライフセービング協会公認BLS講習」報告

7月10日(土)に、商学部の体育集中授業において、「日本ライフセービング協会公認BLS講習(救命講習)」が本学にて実施されました。BLSとは、Basic Life Supportの略称で、心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置のことです。質の高い心肺蘇生とAEDについて、知識と技術を習得し、病気やケガ、不慮の事故、自然災害などで突然意識を失った人への対処法を実践できるレベルまで身につけることが講習の目的です。当日は、館山市を拠点に活動する館山サーフクラブより資格認定講師を招き、履修生は公認資格を取得すべく、事前のオンライン学修、学科・実技講習及び検定試験に取り組みました。検定試験には受講生全員が合格し、公認資格認定を受けることができました。在学中のみならず、その後の社会の一員としても継続的にスキルを確認に努めます。

# 2年ぶり箱根路へ振り返り咲き!

ただひたむきに禅をつなぐ The Wind Of HAKONE

1月2日(日)・3日(月) いよいよ箱根駅伝へ  
引き続き皆さまの熱いご声援をよろしくお願いたします。

## 箱根駅伝予選会

エース栗原選手が日本人トップの快走!

「第98回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会」が10月23日(土)に東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地内を周回するハーフマラソン(21.0975キロ)のコースで行われました。駅伝部は総合7位(10時間43分08秒)となり2年ぶり22回目の本大会への出場権を獲得。エースの栗原 啓吾選手が19km過ぎにスパートをかけて先頭に立ち、熾烈な争いを制し、日本人トップの8位でゴールという好成績を収めました。

<総合7位> 10時間43分08秒				
氏名	学年	タイム	順位	
栗原 啓吾	4年	1時間02分46秒	8	
吉本 光希	3年	1時間03分38秒	43	
川田 啓仁	3年	1時間03分53秒	63	
松井 尚希	4年	1時間04分19秒	98	
吉田 光汰	4年	1時間04分28秒	111	
伊藤 秀虎	2年	1時間04分32秒	115	
谷口 唯翔	2年	1時間04分37秒	124	
芳賀 利紀	1年	1時間04分39秒	128	
吉田 礼志	1年	1時間04分39秒	130	
堀田 晟礼	1年	1時間05分37秒	186	
工藤 巧夢	1年	1時間06分44秒	262	
糸井 春輝	4年	1時間06分56秒	270	



## 全日本大学駅伝

終盤に順位を押し上げて11位でゴール!

「秩父宮賜杯 第53回全日本大学駅伝対校選手権大会(全日本大学駅伝)」が11月7日(日)に愛知県熱田神宮から三重県伊勢神宮間において行われ、駅伝部は出場27チーム中11位(5時間19分09秒)でゴールしました。終盤の7区吉田 光汰選手が区間7位、8区吉本 光希選手が区間8位と激走し、最後は吉本選手が東海大学とのラスト勝負を制して、11位でゴールに飛び込みました。

<総合成績> 11位 5時間19分09秒		
順位	大学名	タイム
1位	駒澤大学	5時間12分58秒
2位	青山学院大学	5時間13分06秒
3位	順天堂大学	5時間14分20秒
4位	國學院大学	5時間14分53秒
5位	東京国際大学	5時間15分13秒
6位	早稲田大学	5時間16分29秒
7位	明治大学	5時間16分46秒
8位	中央大学	5時間17分06秒
9位	法政大学	5時間17分39秒
10位	東洋大学	5時間17分58秒
11位	中央学院大学	5時間19分09秒

<個人成績>					
区間距離	氏名	学年	区間順位	区間タイム	
1区(9.5km)	松井 尚希	4年	17位	28分08秒	
2区(11.1km)	栗原 啓吾	4年	11位	32分39秒	
3区(11.9km)	川田 啓仁	3年	17位	35分29秒	
4区(11.8km)	吉田 礼志	1年	10位	34分35秒	
5区(12.4km)	伊藤 秀虎	2年	9位	37分04秒	
6区(12.8km)	武川 流以名	3年	8位	38分27秒	
7区(17.6km)	吉田 光汰	4年	7位	53分01秒	
8区(19.7km)	吉本 光希	3年	8位	59分46秒	

## 新ユニフォーム紹介



慣れ親しんだ紫シャツとフラッシュイエローパンツのユニフォームを一新し、今期からフラッシュイエローシャツと黒パンツの新しいスタイルに変更となりました。2020年10月の箱根駅伝予選会での悔しさからRestartを誓った本学駅伝部の想いが込められています。



主将 小島 慎也選手

## Interview

現在、チームには故障者が多く見られ、なかなか主力のメンバーが揃わない状態ではありますが、箱根駅伝当日に向け、故障者ゼロを目指してやっていきたいと思っています。チームとしての目標は8位です。自分も100%の状態に近づけられるよう当日までの期間、精一杯練習に取り組んでいきたいと思っています。そして、一つでも目標を上回るようチーム一丸となって頑張りますので、引き続き皆さま方の応援をよろしくお願い致します。



## 箱根駅伝の応援に関するお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、スタート・フィニッシュ地点および各中継所、コース沿道での応援、観戦はお控えください。当日はテレビなどでの応援、観戦をお願いいたします。

「第98回 東京箱根間往復大学駅伝競走」 2022年1月2日(日)・3日(月) テレビ放映 日本テレビ系列にて放送予定 7時00分~14時00分頃



### The Wind Of HAKONE 2022

夏合宿から全日本大学駅伝までの駅伝部の活動を記録したリーフレットも併せてご覧ください。

箱根駅伝特設HPはこちら

## Interview

オープンキャンパスでは受付、案内、在学生の相談コーナーなど、さまざまな仕事を担当。一日の仕事のほとんどは学生主体で動いており、仕事内容はマニュアルのほか、先輩から教わりながら覚えていくので、自然に仲間意識が生まれましました。スタッフのシャツを着て仕事をしていると、高校生や保護者から大学について何度も質問され、中央学院大学に興味を持ってくださる方がたくさんいることにやりがいを感じました。その気持ちにできる限り応えたいと思うと同時に、どうしたら中央学院大学を魅力的に伝えら



今はほとんどが対面授業になり、大学に通える有難さを感じています。せっかく大学に入ったので何かを始めたいと思っている方、大学生活の思い出にぜひオープンキャンパススタッフをやってみてはいかがでしょうか!

オープンキャンパススタッフを体験しCGUがもっと好きになりました

入学してすぐに授業がオンラインになってしまい、一年生の間ほとんど大学へ行けずに終わってしまいました。「友達もできずに大学生活が終わるのでは」と思っていた時、大学職員から「受験生向けの説明会で大学生活について話して欲しい」という依頼をいただき、さらにオープンキャンパススタッフに誘われました。不安もありましたが、大学生活の思い出になればと思いやってみることにしたのです。

スタツフを務めたことで、気の合う友人や相談しやすい先輩に巡り合えました。また大学職員の方とも一緒に仕事をし、大学について知らなかったことを知ることができました。

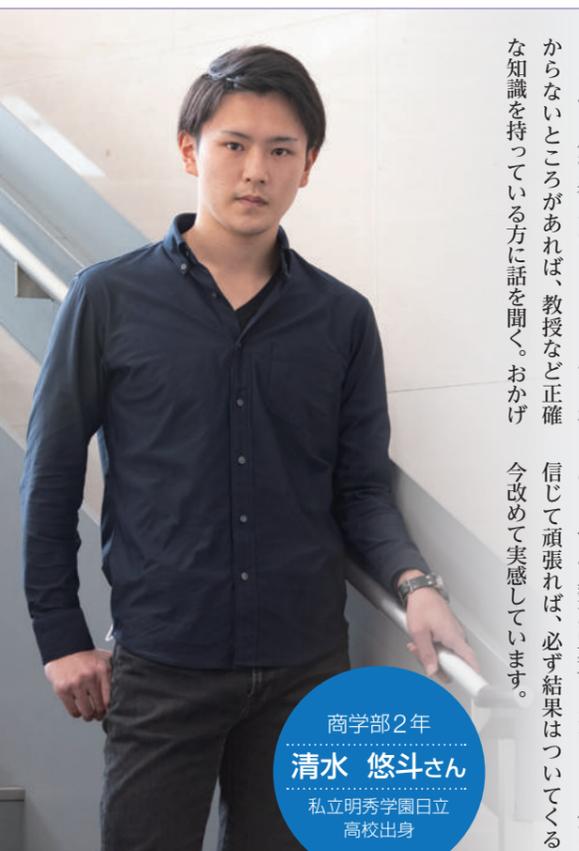
今ほとんどが対面授業になり、大学に通える有難さを感じています。せっかく大学に入ったので何かを始めたいと思っている方、大学生活の思い出にぜひオープンキャンパススタッフをやってみてはいかがでしょうか!



現代教養学部 2年  
三枝 優梨さん  
私立江戸川女子 高校出身

## 学生Interview 頑張るCGU生

新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンライン授業が中心となった中央学院大学。コロナ禍で変わってしまった学生生活の中でもさまざまなことに挑戦し、頑張るCGU生にお話を伺いました。



商学部2年  
清水 悠斗さん  
私立明秀学園日立 高校出身

独学で行政書士の資格に挑戦 考えることの重要さを 実感しました

もともと社会保険労務士の資格を取得したいと考えていました。行政書士試験に合格していなければ社会保険労務士試験の受験資格要件を満たせなかったため、まず大学在学中に行政書士試験に合格しようと思ひ勉強を始めました。

最初は大学の制度を利用するつもりでしたが、受講しようと思っていた講義がコロナ禍で開講されなかったため、独学での勉強を決意。「オンデマンド配信の授業なら大学までの通学時間がかからない。その分自分の裁量で時間を使うことのできる環境になった」と前向きに考えることにしました。実際、勉強時間が増え、自分にとってはコロナ禍もメリットだったと思います。

無事に行政書士の資格を取得できたので、今年度は社労士試験に挑戦。資格取得後は、アルバイトやインターン等を通じて実務能力を身につけたいと考えています。資格試験を目指すには、とにかく頑張るしかありません。努力は裏切らないし、自分を信じて頑張れば、必ず結果はついてくる。今改めて実感しています。

考えることの重要さを 実感しました

最初は大学の制度を利用するつもりでしたが、受講しようと思っていた講義がコロナ禍で開講されなかったため、独学での勉強を決意。「オンデマンド配信の授業なら大学までの通学時間がかからない。その分自分の裁量で時間を使うことのできる環境になった」と前向きに考えることにしました。実際、勉強時間が増え、自分にとってはコロナ禍もメリットだったと思います。



硬式野球部

「明治神宮外苑創建95年記念第52回明治神宮野球大会」初優勝



11月20日(土)～11月25日(木)に行われた「明治神宮外苑創建95年記念第52回明治神宮野球大会」の決勝にて、慶應義塾大学(東京六大学野球連盟代表)に9対8で勝利し、初優勝を飾りました。19年ぶり3回目の出場での初優勝、千葉県大学野球連盟からの明治神宮野球大会優勝も初となり、硬式野球部の創部以来の悲願である「大学野球日本一」となりました。硬式野球部のこれまでの活躍については「学報 明治神宮野球大会優勝記念号」をぜひご覧ください。

明治神宮野球大会  
HPはこちら



サッカー部女子

「第35回関東大学女子サッカーリーグ戦(3部) 初優勝



「第35回関東大学女子サッカーリーグ戦(3部)」にて全勝し、初優勝を果たしました。12月5日(日)に行われる「関東大学女子サッカーリーグ2部入替戦」に出場します。

ゴルフ部

「信夫杯争奪日本学生大学ゴルフ対抗戦」にて全国6位



10月28日(木)・29日(金)に行われた秋の大学日本一を決める団体戦「第65回信夫杯争奪日本学生大学ゴルフ対抗戦」にて全国6位の成績をおさめました。また、10月26日(火)・27日(水)に行われた、個人戦「第68回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権」「第24回朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権」にそれぞれ男子4名、女子1名の選手が出場しました。なお、遠藤 銀河選手、細川 和広選手、遠藤 眞子選手が11月30日(火)～12月3日(金)に開催される「文部科学大臣杯争奪日本学生王座決定戦」に出場します。

サッカー部男子

「千葉県大学サッカーリーグ」優勝 「関東2部リーグ参入戦」出場



千葉県大学サッカーリーグ戦(1部)にて5年ぶり6回目の優勝を果たし、千葉県代表として関東2部リーグ参入戦へ出場することが決定しました。関東2部リーグ参入戦は、東京都より2校、千葉県・神奈川県・埼玉県・北関東地区より各1校が出場する大会です。総当たり戦を行い上位2校が自動昇格、3位校は関東2部リーグ10位の大学とプレーオフを行い、勝利した場合昇格となります。

バレーボール部男子

「全日本バレーボール選手権」千葉県ラウンド優勝



7月11日(日)に行われた「令和3年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 千葉県ラウンド」にて優勝し、10月10日(日)に関東代表の座をかけて関東ブロックラウンドへ出場しました。関東ブロックラウンドでは、Aグループの決勝で順天堂大学と対戦しましたが、0対2で惜敗となりました。



パラリンピック 本学OBが大活躍



世界で戦う姿を  
子どもたちに見せたい

高砂 進さん(右)

1997年商学部卒。大学3年時にバイク事故で左足を切断。パラリンピックには2008年北京に続いての出場。現在は自らチームを率いる一方、小中学校での体験教室など普及活動にも力を入れている。



粘り強くボールに食らいついて攻撃につなげたい

シッティングバレーボールは、おしりを床につけた状態で行うバレーボールで、障害者だけでなく幅広い年齢の人が楽しめるチームスポーツです。私がこの競技に出会ったのは、25歳の時でした。もともと中学時代バレーボール部に所属しており、勤務先の都庁の先輩に誘われたのがきっかけ。「楽しい」から始まった競技人生ですが、アジア・世界選手権やパラリンピックで「日の丸をつけて世界と戦う」という目標ができ、すっかりはまってしまいました(笑)。

東京2020パラリンピックの時は大会組織委員会の担当部署に所属しており、準備段階からずっと目の回るような忙しさでした。またコロナ禍でなかなか練習できないのも辛

かったです。大会前、週末ごとに有志が集まって練習しながら、なんとかモチベーションをキープ。リペロを任せられたからには、どんなボールにも食らいついて、攻撃につなげるという強い気持ちで大会に臨みました。

本番は無観客でしたが、ともに練習した仲間たちの応援を力に、自分たちらしさを十二分に発揮できたと思っています。目標の1勝には届かなかったものの、テレビ中継を通じて、多くの人に競技を知ってもらえたことも収穫です。今の私の目標は、もっとうまくなることと1日でも長く現役を続けること。

そしてシッティングバレーボールの楽しさを、より多くの人に伝えていければと思っています。



8月24日から9月5日に開催された東京2020パラリンピック。

小林光二さんは、陸上競技男子5000mに出場した唐沢剣也さんのガイドランナーを務め、銀メダル獲得に貢献。高砂進さんは、シッティングバレーボールの選手として大会に出場。日本チームを盛り上げました。



伴走者として  
銀メダルに貢献



小林 光二さん(左)

2011年法学部卒。大学時代は駅伝部に所属、箱根駅伝に4回出場(1年4区、2年3区、3・4年2区)。卒業後も実業団ランナーとして活躍し、昨年現役を引退。現在はSUBARU陸上部コーチ兼マネージャーとして選手を支えている。

端的な声かけで本人の高いパフォーマンスを引き出す

今年3月、唐沢さんの支援団体「からげん会」から、SUBARU陸上競技部にガイドランナーの協力依頼があり、4月に初めて唐沢さんに会いました。一緒に走ってみて、ピッチやストライド、腕振りなど走り方が似ていることから私がガイドランナーを務めることに。それから週1回の練習を重ねてパラリンピック本番に臨んだのです。

ガイドランナーの役割は選手の目として、ともに走りながら必要な状況を伝えること。レースは生き物ですから、割り込みやペースの上げ下げなど、わかりやすい言葉で瞬時に状況を伝えることが求められます。唐沢さんは競技歴5年と経験が浅いこともあり、リラクセスして走れるよう、また前半は抑えめで力を貯められるような伴走を意識

しました。普段から寡黙な唐沢さんですが、レース一週間前からは「早くレースを走りたい」という気持ちが抑えられないようで、伴走を務める私も「これならいける!」と思ったのを覚えています。とはいえもう一人の伴走者に目指していた位置よりも後ろで引き継ぐことになり、最後は祈るような気持ちでした。周りからの期待も大きかったため、銀メダル獲得に貢献できて本当に良かったです。

今回ガイドランナーを務めたことで、障害者スポーツの環境が整っていないこと、自分たちがいかに恵まれているかを実感しました。今後は実業団と障害者スポーツをつなぐような役割も果たせればと思っています。私自身も走力を落とさず、選手に信頼される伴走者をめざします。

